

会議概要

件名	第2回 第二次新潟市下水道中期ビジョン（改訂版）検討委員会
日時	令和5年9月25日（月） 午後3時から5時15分
場所	アートホテル新潟駅前4階 佐渡の間
出席者	委員 五十嵐委員、栗井委員、田嶋委員、中島委員、松井委員、吉川委員、和田委員、渡邊委員
	事務局 【下水道部】帆苧部長、【経営企画課】渡邊課長、小川課長補佐、【下水道計画課】西山課長、佐藤課長補佐、【下水道管理センター】古俣所長、【下水道管理センター施設管理課】藤井課長、【東部地域下水道事務所】山口所長、【西部地域下水道事務所】中島所長
議事要旨	<p>議題1 第1回検討委員会の意見概要について 第1回検討委員会での意見概要とその対応案について事務局から説明</p> <p>議題2 各施策における改訂の方向性について 第二次新潟市下水道中期ビジョンの改訂について、全体の方向性及び各施策の見直しの方向性を事務局から説明</p> <p>● 委員からの主な質問・意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウォーターPPP は民間が引き受けられる部分を検討したうえで導入してもらいたい。 ・浸水対策には、国営・県営の排水機場や河川部局、農業部門など、関係機関との広域な連携が必要となる。そのことを記載すべきではないか。 ・雨に強い地域というのは市民が期待するところである。市民が協力してみようと思うような踏み込んだ記載にしてもよいのではないか。 ・浸水シミュレーションについて、農地など市街化区域外からの流入を計算しなければ本当のシミュレーションはできない。貯留管を整備する際も、流域内で他施設が担う部分を考えて施設の効率化を図る必要がある。 → 市街化区域外からの流入がある場合は排出先も含めて検討しています。下水道施設以外の貯留施設等については再度確認を行います。 ・耐水化の優先順位を教えてください。 → 発生確率の高い洪水対策を短期的な計画の対象とし、まずは揚水機能を確保することを優先に考えています。 ・耐震化の優先順位については、下水道施設としての重要性和老朽化を考慮するとあるが、避難所や災害復旧拠点につながる下水道管を優先するといった観点はあるか。 → 重要な下水道施設として、緊急輸送路や避難所を繋ぐ管渠を守っていく考えです。 ・目標は可能な限り数値化してほしい。数値化が難しい場合でも、達成水準をできる限り記載してほしい。 ・水処理の過程における温室効果ガスの抑制についても検討してほしい。 ・施設管理は基本的に民間委託に移行するとあるが、すべてが民間委託となれば不安を感じる市民もいるのではないか。 → 職員がまったくいなくなるということではありません。外部委託により経費削減を図るとともに、要の部分については市が責任をもって実施していく考えです。 ・雨に対する市民の不安の声を耳にすること多い。年代別に効果的な情報発信をしていく必要がある。

<p>配布資料</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・次第 ・日程（案） ・議事資料 <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding-left: 10px; margin-left: 20px;"> <p>第1回検討委員会意見概要</p> <p>第二次新潟市下水道中期ビジョン（改訂版） 改訂の方向性</p> <p>第二次新潟市下水道中期ビジョン（改訂版） 各施策の見直しの方向性</p> </div>		
<p>傍聴</p>	<p>0人</p>	<p>報道</p>	<p>4人</p>